



## 三好市 × ザ・ダルズ市 姉妹都市交流 親善団交流体験記

# さらなる交流の発展を願って

三好市がアメリカ合衆国オレゴン州ザ・ダルズ市と姉妹都市提携を結んでから10年が経過しました。また、両市の国際交流協会を中心とした民間レベルでの交流は30年以上続いています。

今年、両市の長年にわたる交流を祝い、今後の更なる友好の発展を願う記念式典がザ・ダルズ市で開催され、副市長、市議会議員2名を中心とした三好市姉妹都市交流親善団19名が10月26

日から11月2日までの8日間の日程で訪問してきました。ザ・ダルズ市での滞在期間中、団員は周年記念行事や市庁舎表敬訪問など多くの公式行事に出席するとともに、アメリカの大自然や文化に身近に触れる機会を得ました。



▲三好市訪問時の交流の様子  
ザ・ダルズ市役所の展示コーナー▶

### 姉妹都市交流親善団 スケジュール

10/26(金)	9:50 ~ 11:10	高松空港から羽田空港へ
	16:10	成田空港 出発
	9:15	《日付変更線 通過》
	11:00 ~ 14:15	ポートランド空港 到着
	15:30 ~ 17:00	マルトノマ滝・ボナビルダム見学 ザ・ダルズ市内見学 (ヴァンセントランドマーク、ネオン サイン美術館)
	17:00 ~ 17:30	ホストファミリー対面式
10/27(土) 28(日)	終日	ホストファミリー宅にて活動
10/29(月)	9:00 ~ 15:00	ワシントン州研修 (She Who Watches公園、ストーン ヘンジ、キャサリンクリークなど)
	15:30 ~ 16:15	30周年記念式典 出席
10/30(火)	8:15 ~ 15:25	ダルズ高校 (授業参加、交流等)
	15:25 ~ 16:45	ダルズ市図書館 見学
	18:00 ~ 20:00	じゃまたパーティー (送別会)
10/31(水)	8:00	ホストファミリーとお別れ
	12:00 ~	ポートランド見学、ホテル宿泊
11/1(木)	12:31	ポートランド空港出発 《日付変更線 通過》
11/2(金)	15:35	成田空港到着
	19:40 ~ 21:00	羽田空港から高松空港へ

また中学生団員10名と各種交流団員1名は、市内でのホームステイを体験したり、ダルズ高校での授業に参加するなど多くの

方々とのコミュニケーションを通じて、新たな友情を結ぶ貴重な経験をしました。

姉妹都市交流事業では毎年ザ・ダルズ市への親善団の派遣だけではなく、ザ・ダルズ市からの親善

団の受け入れも行っています。毎年公募による多くの市内のご家庭にホストファミリーとしてご協

力いただき、交流を深めています。

## 周年記念の年に参加して

### 三好市国際交流協会会長 松端基之

米国オレゴン州ザ・ダルズ市との民間交流の始まりから旧池田町として三好市との姉妹都市交流が30年という大きな節目を迎えることが出来ました。

この30年の間多くの人達の手によつて両市の友好と信頼が深められ、本家の家族のような愛情も育まれました。毎年両市が相互に訪問し、帰国する時にはホストファミリーと涙を流して別れを惜んでいる姿を何度も目にしました。

言葉や習慣の違いを超えて友好関係を築いてこられたのは、お互いを尊重し思いやる気持ちと、海を越えた友情を大切にしたいと思うお互いの熱い心であり、姉妹都市交流を支えてくださった皆様による努力の賜物であると改めて感謝しています。そして両市の相互理解と親善の絆が次の世代にも引き継がれ、新たな10年そして30年へと続くことを願っています。

### 三好市副市長 近泉裕久

今回、姉妹都市提携10周年を記念する親善団の一員としてザ・ダルズ市訪問に参加しました。その風景



は、日本のそれとは似ても似つかないほどスケールの大きいものでした。こんな所で暮らしていると、人間のスケールも大きくなって当たりまえ

何事にもおおらかで、きさくな国民性を育てる理由が解った気がします。単一民族だけの島国で生活していたのでは、文化の多様性やグローバルスタンダードを直に体感することはできません。国際感覚が求められるこの時代、中学生をザ・ダルズ市へ派遣し続けていることの意味を再認識した次第です。中学生にとって、一生の宝物となるこの派遣事業と、ザ・ダルズとの友好関係がこれから

### 三好市議会議員 田村俊哉

ダルズダムの対岸に植樹されたサクラノボの木、その横に姉妹都市10周年を祝うベンチがあった。百聞は一見に如かずとはまさにこの事だ。目に入るものすべてが日本よりも

壮大で、空の高さまで違つて見えた。しかし、三好市との共通点がたくさん見えてくるのも確かだ。森林、川、ダム、水力発電所、ウォータースポーツ、スキー場、地酒、農産物、まさにあげればきりが無いほどよく似ている。人はおおらかで優しい、言葉の壁さえ無ければさらに身近に感じるだろう。もっと多くの

市民が参加できることがあるはずと実感した。我が家もホームステイを受け入れたことがある。娘もこの地を訪れ様々なことを体験させていたのだ。

### 三好市議会議員 村中将治

今回私自身も市議会議員としてこの記念行事に参加させていただいたが、この経験をもとにさらなる両市の姉妹都市交流の充実のために協力したいと強く決意いたしました。

ザ・ダルズ市に訪問します。ロッキーマウンテンを走るコロンビア川と広大な山脈、また非常にのどかな風景等は、我々の住む三好市と規模は違いますが、非常に似ていると思つたのが第一印象でした。またグリーンなどの企業誘致にも成功しております、市全体が活気に溢れておりまして、一番印象深かったのは、民家に国旗を掲げている家が多くあり、私も今度、郷土愛の大切さを実感しました。

滞在中には、ローレンス市長・リンドン市議会議員をはじめとする関係者の皆様に市役所や議場、ダルズ高校など多くの所に訪問させて頂き、日本の文化と違った体験をさせて頂き非常に勉強になりました。最後になりますが、このような貴重な体験の機会を与えてくださった市民の皆様また関係者の皆様に深く感謝の意を表し、厚く御礼申し上げます。



### ザ・ダルズ市

(人口:約15,000人 面積:17.12km<sup>2</sup>)  
アメリカ西海岸・オレゴン州に属し、州都ポートランドからコロンビア川を東に約130kmさかのぼった南岸に町並みが広がっている。高緯度にも関わらず穏やかな気候に恵まれ、少なくとも一千年前からアメリカ原住民たちの商取引の中心地として栄えていたといわれる。ダルズという名は、フランス語の“le dalle”[谷]に由来する。



### ザ・ダルズ市との姉妹都市交流の経過

- 1987年 ジャンボーズクラブ主催の中学生派遣
- 2003年 池田町とザ・ダルズ市が姉妹都市提携
- 2006年 三好市発足
- 2007年 三好市とザ・ダルズ市が姉妹都市提携

オレゴン州

中学生団員

三野中学校2年 武井ひな

何もかも初めてだったホームステイ。行く前は不安ばかりだったけど、ウェルカムパーティーでホストファミリーに出会って一気に不安がなくなりました。私のホストファミリーは英語が分からない私にジェスチャーなどを使って、伝わるようにゆっくり話をしてくれました。一緒に過ごす時間が増えるにつれ、私にとってかけがえのない時間となりました。私はこのホームステイを通して、今まで以上に外国に興味をもちました。英語をもっと勉強して、外国の人とたくさん交流してみたいと思います。

三野中学校2年 武田 一花

私は、日本の良さやコミュニケーションの大切さを実感しました。日本では看板などに何ヶ国語もの表記があるけどアメリカでは2ヶ国語くらいしか表記がなくて困ることがありました。また、ホームステイした家では食事後は家族で団らんをする時間が少なく日本との文化の違いに少し驚きました。この体験で日本のおもてなしの心の素晴らしさを再確認出来ました。またアメリカの人の優しさにも触れることができました。

私が英語を上手に話せなくても一生懸命聞いてくれて通じたときはすごく嬉しかったです。この経験を通して自分の視野が広がったし失敗を恐れずに挑戦しようと思うようになりました。

三野中学校3年 笹井皓介

僕は、ダルズ高校での習字の研修がとても印象に残りました。日本では当たり前前の習字がアメリカの高校生には新鮮で、興味を持って参加していたので、日本の文化の習字を自分もまたより深く知ろうと思うことができて、とても良い体験になりました。ダルズ市は三好市と自然などが似ていて、あまり困惑する事なく過ごせました。常に笑顔で接してくれたホストファミリーとの交流は、とても楽しく時間がたつのを忘れるほどでした。今回の交流で、言葉での交流以外にもジェスチャーなどでコミュニケーションがとれたので、伝えたい気持ちがあらば、どこに行っても自分の意見は表現できることを学びました。

池田中学校2年 宇津和奏

一番印象に残っていることは、ジャックオランタンを作ったことです。ホストファミリーのお孫さん達といっしょに、大きなカボチャ畑に行つて自分

の好きなカボチャを選びました。日本では見たことがないようなカボチャが沢山あって驚きました。家に帰ってからカボチャを切るときに、どの線に沿って切るかや、中綿の取り方が分からなかったの、知っていた単語を並べ、ジェスチャーを使って質問して、コミュニケーションをとることができ、いい経験になりました。これを機により一層英語の勉強に励みたいと思います。

池田中学校3年 中村心音

ダルズでの体験を楽しみだけで終わらせるのではなく、今後の自分のコミュニケーション力として身につけていきたいと思っています。ダルズでは何をしても楽しかったのですが1番の思い出は、ホームステイ先の御夫婦やお孫さん達とカボチャ畑へ行き仲が深まったことです。言語が違ったとしても、自分から積極的にコミュニケーションをとることで相手が大人であつても子供であつても心を開いてくれるのだということをもっと感じました。これからもっと英語の学習をして成長し再びダルズ市へ行ってみたいです。

山城中学校3年 橋口萌芽

私が、この一週間で最も印象に残ったのは日曜日です。この日の朝に教会へ行ったのが一番の思い出です。ここでは、いくつかの歌を聞きました。歌詞の意味をすべて理解することは

できませんでしたが、歌っている人の歌声やピアノ・サクソ・ドラムなどの演奏がとても凄くて感動しました。一曲目を聞いたときは、鳥肌が立ったぐらいです。教会には、たくさんの方がいたので多くの人と交流することができました。日本には「何曜日にもみんなで集まる」といった習慣が少ないので、このような習慣があるのは良いなと思いました。

山城中学校3年 宮本桃花

私が今回、ダルズ市と交流して特に印象に残ったことは、ホームステイをしたことです。初めは不安でも緊張していましたが、ホストファミリーがやさしく迎えてくれて安心しました。ホストファミリーは、ダルズ市の風景を見せてくださりました。赤黄緑茶と様々な色の木がたくさんあり、とても美しい街並みだなと思いました。ホストファミリーとの毎日の会話もとても楽しく、英語で話すことも前よりはできるようになったかなと思います。私はこれから三好市に訪れた外国人と出会った時はホストファミリーのようにやさしく迎えたいと思います。そして英語を使っている日本人の良さを伝えたいです。それから英語の勉強ももっともっと頑張りたいと思います。

山城中学校3年 森崎智大

僕のホストファミリーは、お父さんが画家でした。芸術で生計を立て

ている人が存在しているという事は知っていました。実際に会ったのは初めてで、とても驚きました。五日目の夕方、地下にある仕事場を見せてもらい、仕事についての話をしてくれました。この体験から、それまで知識として知っていた事は、体験として感じる事で初めて理解できるのだ、と強く感じました。学校で学んだ英語や、研修で知った文化の違いは、話したり経験したりする事で理解できます。これから、物事を実際に経験し、正しく理解できる人になりたいです。

西祖谷中学校2年 伊沢玲王

ダルズ高校の「みんなで話し合い、考える」という授業が印象的だった。スバゲティやマシニコロ、糸、マスキングテープを使いタワーを作る授業で、僕は自分なりに仮説や設計図を立てていたが、言葉が分からず言い出せなかった。しかし、紙に書いて説明すると、理解してくれた人達が、他の人にも説明してくれ、みんな「Good job!」と言われたことがとても嬉しかった。タワーの完成に僕のアイデアは使われなかったが、言葉の違いはあっても一緒に考える楽しさを感じた。また、言葉が通じなくても、伝えたいと思う気持ちの大切さを感じた。

東祖谷中学校3年 宮西羽奏

今回、アメリカ、ダルズ市を訪問し

各種交流団員

山城中学校教員 峰友真弓

て、本物の英語や文化に触れることが出来ました。言葉が十分に話すことが出来なくても、身振り手振りで伝えたり、簡単な英語で喋って積極的にコミュニケーションをとることができました。私は、買い物でレジに行くとき、必ず「Hello」や「How are you?」など聞かれることに驚き、とても良い文化だと思いました。交流が終わって「もっと英語を話せるようになりたい。」と思いました。英語力を磨いてリベンジしたいです。

ダルズ高校で現地の生徒たちと一緒に様々な授業に参加させてもらったのが一番印象に残っています。どの授業も生徒たちが自ら考え、協力して目標を達成するように仕組まれており、私自身大変勉強になりました。また今回は書道体験の授業をやらせてもらいました。現地の生徒たちの名前を漢字にして書道で書いてもらうという内容でしたが、中学生団員たちが一生懸命現地の生徒に教えていた姿が印象的でした。今回参加してきて、本当にたくさんの方々の支えによってこの交流が続いてきたことを実感しました。私もダルズ市にたくさん友達ができました。これからも私なりの交流を続けていきたいと思っています。

三好市 × ザ・ダルズ市 姉妹都市交流 親善団交流体験記

